

心つないで

No.70

発行

2015年11月16日

東日本大震災

ろっこう医療生協・危機管理室〈室長・金丸正樹〉

(ろっこう医療生協・本部内 TEL 078-802-3424)

2015年秋支援・第2陣・羽田野支援部員(本部)、 坂本事務員(東雲診)、市川さん(学生)の大船渡報告

歌体操& お茶っこ

体操終えて、お茶っこで 引っ越しのこと、普段の暮らしのこと.. いろいろお話を聞きました

●第2陣は、11月9日から11日まで、上記の3人が行動しました。今回の支援チームでは最も平均年齢の若いトリオで、元気に行動しました。

・10日、前夜の雨雲も去り、よく晴れた一日となりました。午前中に大船渡北小学校にある山馬越(やままごえ)仮設住宅を訪問。3人の方が参加され、右手で2拍子、左手で3拍子をする体操に大苦戦、繰り返し練習しました。【写真下】

・80世帯が入居できるこの仮設も、現在は約半数の40世帯に。参加された方も12月には復興住宅に転居予定とのこと。お茶っこでは、転居費用や移転先の復興住宅のことが話題になりました。



・11日は赤崎町の後ノ入(のちのいり)仮設へ。仮設に向かう途中で港では新たな防潮堤を建設したり、山を削って高台宅地造成をしていました。仮設の談話室につくと、昨年実施したロコトレのポスターが貼ってあり嬉しくなりました。歌体操には8人が参加され、今日も3曲行いました。

・体操のあとのお茶っこでは、ロ々にいろいろな話が出ました。「郵便局が移ってお金をおろすのも遠い」「バスが1日に4本しかなく時間を調整するのがむづかしい」「移動販売は来るが、品物が悪い」など。移動手段が限られている方には特に立地の大変さがあるようです。【写真・上】



・初日の夜、夕食を済ませて「ちば内科診療所」を訪問し、千葉先生が次々に患者さんを紹介してくださり、いろいろなお話を伺いました。【写真・左】

・山馬越仮設での活動を終えて、昼食を新しくなった「大船渡市魚市場」でいただきました。大船渡湾に面した展望席で、綺麗な景色と新鮮な海鮮をいただき大満足でした。大船渡の漁業に関する展示スペースなどもあり、またゆっくり見てみたいと思います【写真・上】

●「さんま祭り」の収益金174,379円を大船渡市に贈ります (第4陣にて)